

平成28年6月 国見町教育委員会 会議録

- 1、召集日時 平成28年6月15日（水）午前10時
- 2、召集場所 くにみ幼稚園 会議室（2階）
- 3、議席指定 1番委員 石川 博利
2番委員 志村 裕美
3番委員 高橋 幸子
4番委員 赤坂 正行
5番委員 岡崎 忠昭
- 4、議事録書名人 2番委員 志村 裕美 4番委員 赤坂 正行
- 5、欠席委員 なし
- 6、説明のため出席
教育次長兼学校教育課長 引地 由則
幼児教育課長 中田 利枝
生涯学習課長 羽根 洋一
指導主事 宍戸 正幸
- 7、書 記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒澤 敦子
- 8、傍 聴 者 社会教育委員 高橋弘信、羽根田ヒサ、樋口卓弥
生涯学習課職員 大勝 晴美、八島 章
- 9、開 会 午前10時
- 10、議題の上程

○議案第11号 国見町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
(事務局説明)

石川委員：児童の属する世帯の要件により適用が増えると思うが、現在対象となる世帯数は概ねどのくらいか。

中田課長：新制度に移行していない私立幼稚園に就園する町内在住の園児に対する補助金であり、本年度について該当者はいない。

高橋議長：賛成の挙手を求める（全員挙手）

高橋議長：議案第11号は承認された。

○議案第12号 平成28年度国見町一般会計（教育費）補正予算（第2号）について
(事務局説明)

志村委員：社会的課題に対応するための学校給食の活用事業とは、どのような内容か。

引地次長：学校給食を活用して食品ロスの削減、地産地消の推進、食文化の継承など食をめぐる諸課題に取り組み、その効果を検証する事業である。当町では、この3事業の中で2事業を実施する。1つめの食品ロスの削減について食品の生産・加工・流通などの各段階で発生する食品ロスの削減に貢献する体制に構築を目指す。2つめの地産地消の推進について学校給食における地場産物が一層活性されるよう、食品の生産・加工・流通などにおける新たな手法を開発、研究する事業である。

石川委員：学校給食費の報償費は、検討委員会ということだが、何人の委員、何回の開催か。
また、小学校管理費の委託料として無線 LAN が計上されているが、社会教育費の需用費のタブレット購入と関連があるのか。

引地次長：委員は 20 名程で 2 回開催を予定している。2 つめの質問について生涯学習課のタブレット購入の関係として小学校体育館に無線 LAN を設置する。

石川委員：中学校の高圧ケーブル修繕は、東北電気保安協会に委託点検しているなかでの修繕の指摘なのか。

引地次長：その通り。

志村委員：タブレット端末は小学校と中学校に配布するとの説明で、講師も計上されていると思うが、授業用として先生も使いながら問題を解いたり、指導していくのか。

羽根委員：文科省では、2020 年に向けた情報化教育についての議論がされているなか、今回、社会教育の学習支援コミュニティ事業が、被災地を中心に学校施設、学校支援をする目的で事務費の増額が認められ補助金が交付される。
現在、国見小学校では、デジタル教科書の一部導入され、7 台程度で作業がすすめられており、ICT 化に向けてさらにタブレット導入により、デジタル教科書や調べ学習等で使うことを考えている。

志村委員：どの学年に導入するかは学校の意向になるのか。

羽根委員：そうなると思う。

高橋議長：タブレットは家庭に持ち帰ることはしないで授業だけの使用か。

岡崎教育長：一人 1 台の環境が整えば、家庭学習も考えられるが、小学校に 2 学年、中学校に 1 学年の導入であり、原則として学校と公民館事業、社会教育の中で使用可能である。

石川委員：予算は、生涯学習課で計上し、実際に使用するのは学校教育課ということだが、タブレットは、財産として取扱いされるのか、消耗品になるのか。補修が必要になった場合に予算はどちらで対応するのか。

引地次長：タブレットは消耗品として扱うため補修は考えていない。

高橋議長：使い方としてタブレットを児童生徒に支給する学校もあるが、それとは別なやり方か。

岡崎教育長：試験的な取扱いと考えてほしい。

赤坂委員：講師を計上しているが、導入時のみか、それとも継続的に講師依頼するのか。

羽根課長：社会教育事業として講師を考えており、それが認められこの事業が続けば来年度も引き続き要望をしていきたい。

高橋議長：講師は、授業の内容というよりタブレットの使い方の指導か。

羽根課長：この事業は、学校支援であり、講師は、コーディネーターも兼ね、機材やデジタル教科書の使い方、調べ学習など総合的に指導できる方をコーディネーターとしたい。

高橋議長：内定はしているのか。

岡崎教育長：まったくの未定である。

高橋議長：賛成の挙手を求める（全員挙手）

高橋議長：議案第 12 号は承認された。

11、教育長報告事項

岡崎教育長：(1) 町村教育長会東北連総会は、東北の町村教育長が実践発表し研修するもので、大玉村と国見町が組んでコミュニティ・スクールの実践発表した。(2) コミュニティ・スクール委員会 (3) 県教育長国見小・役場訪問については、当町のコミュニティー・スクールを視察したいと県教育長と県教育委員が国見小と役場を訪れた。後ほどの社会教育委員との懇談会で説明する。(4) 以降は前回の教育委員会から教育長が出席したものを記載している。第1回スクールバス検討委員会を開催し、教育委員会から問題提起と委員からの意見を地区に持ち帰り、7月下旬の2回目の委員会で意見を集約する。国見町子どものいじめ防止条例に基づき、いじめ問題対策連絡協議会と、いじめ問題専門委員会を開催し、委員から意見をいただいた。専門委員会は委員3名のほか、今回は、幼小中の園長先生と校長先生が参加して意見をいただき今後の施策に活かしていく。県北中の英語の日は、コミュニティー・スクール委員会で話題になったことが実現したもので、桑折町のALT1人と私立高校のALT3人、国際交流協会2人が講師となり、6クラスに分かれ、英語の授業を行った。当町の英語学習は、幼稚園から中学校まで繋げた事業となっている。

12、各課からの報告

学校教育課：7月15日に東北六県教育委員会連合会研修会の出欠確認をお願いする。現在のALTが8月任期終了となり、新ALTの歓迎会を7月29日に開催する。

幼児教育課：子育て支援事業「国見フェスティバル」は、平成28年度福島県被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業として原発の関係で遊びや運動の機会が減少している児童の健全な育成を図り8月7日、観月台文化センターで実施する。未就学児から小学校低学年までの親子が創作活動、体験活動を通して共通の楽しさを味わい触れ合うことができる交流の場として、第1部が幼稚園教諭と藤田保育所保育士による手作りおもちゃなど創作体験活動、外部講師によるバルーンアート教室など6ブース設置する。育児相談コーナーも設ける。第2部は、ホールにて「楽しく歌う♪ふうふケチャップマヨネーズ」による大きな絵があるファミリーコンサートで子どもから大人まで楽しめる参加型コンサート。参加費無料。

生涯学習課：5月27日に開催した社会教育委員の会議にて国見小学校長と町PTA連絡協議会長の代表者変更による委員の変更があった。展覧会「石原コレクション名品展～国見に花開く美の精華～」は、県立美術館とともに6月11日から19日までの移動美術館として文化センターに展示している。子ども司書講座は、国見小学校4年生から6年生までの10名で6月11日に開講し、1回目の講座は、県立図書館司書による講話を実施し、今後8回にわたり学習する。国見ジュニア応援団結成は、子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業の採択をうけ、福島の復興PRや風評被害払拭、国見町のPRなど小学校5年生から中学校1年生までの10名により学習を進めており、平泉交流、北海道ニセコ町、岐阜県池田町に団員を派遣して交流活動を行う。町長杯スポーツ大会は、5月22日から開催され10種目の競技の表彰式を6月7日に行った。塚野目古墳群の測量調査の現地説明会は、今年4月末から5月上旬にかけ、福島大学の考古学研

研究室の一部を委託して県史跡塚野目1号墳八幡塚古墳の墳丘測量調査を実施し、この成果報告を6月15日に開催する。沢木順コンサートは、7月2日文化センターホールで今年度については町が開催する。これに先立ち6月4日に、ミュージカルセミナーを開催した。町民ハイキング事業は、7月17日に北塩原村早稲沢を予定している。古典文学講座は、7月30日から源氏物語を題材にした文学講座を3回開催する。短期スイミングスクールは、小学校低学年を対象に現在募集中。中尊寺蓮の開花式は6月26日、特別講演会は7月31日、現在絵画コンクールの作品を募集している。

13、その他

特になし

14、閉 会 午前10時50分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成28年6月15日

議事録書名人

2番委員

4番委員

会議書記

主任主査兼学校教育係長 黒澤敦子

※閉会后、くにみ幼稚園参観、社会教育委員会との懇談会、給食センターにおいて給食試食